

令和5年9月教育委員会定例会会議録

日時 令和5年9月22日（月）

10:00～11:30

場所 総合文化会館 研修室4

出席者：森田教育長、小柳委員、馬場委員
山下委員、松尾委員

事務局：朝長次長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 太田係長 欠席

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、山下委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

（8月定例会の会議録を確認。）

森田教育長

昨日は歴史文化交流館の来館者が5万人目を迎えるということで取材に来てもらっていたNCCや長崎新聞の方に、夏休み子供体験講座の周知をファクスでしていましたが、ほとんど取材に来てもらえず、どうして来てもらえなかったのかという話をしました。すると、とても面白いことをされているので、来年度は是非、NCCで取材に来ますからという話をいただきました。話の中で、泥リンピックみたいなものを行っているんですかとかありましたが、地域の自然とか、地元の人との関わりとか、そういう波佐見らしいもの、波佐見の良さを子供たちにもっと知って欲しいですよねという話をされました。

映像も、ただ何とかがありました、ビデオを撮りましたとかだけで終わっているパターンが多いので、それをいかに有効に活用するかっていうところまで広げて欲しい、深めて欲しいとも言われました。確かに、振り返って少なくとも3年から5年ぐらいは、それを見ることによって教育効果もあるだろうし、その映像はその人がいなくなってもそれを振り返ることができるメリットがあるので、ぜひ私たちをもっと有効に使って欲しいし、連携をとって欲しいという話をされました。とても大事なことだと思いますので、学校にもマスコミとの連携を積極的につけて欲しいと思いました。

小柳委員

それに関して、明日鹿山奉納相撲がありますが、盛山学芸員から連絡があって、NCCから記録映像として相撲の時の掛け声とか方言集を撮りたいという話があるようです。

森田教育長

方言で中継とか相撲の様子などを撮りたいというアイデアを持ってらっしゃいました。とても面白いと思いましたが、以前、前川町長が職員時代に、波佐見の歴史、波佐見のイベントを動画カレンダーとして、1月にはこういう催物がありますとかコンパクトにまとめて、一つのDVDに仕上げ、どんどん発信するような取り組みをしたいと話されていたようです。とても素晴らしいアイデアだと思います。浮立とか浄瑠璃とか、そのネタはいっぱいあるわけだからDVDカレンダーはできると思います。そして、今度は方言に焦点を当てたものを作っていきたいということで、鹿山神社の様子を方言で流すとか、そこにテロップで標準語を流すとか話をされていました。自分はとても波佐見に対しては思い入れがあるので、そういうことをどんどんやっていきたいので、もっと使ってもらいたいということでした。ただ撮って終わっているところがあるのでもったいないということでした。

本当それはそうだなあと思いました。話題になるのは学校の頑張っている結果だけではなく、様子を保護者や地域の方々にも見ていただくということはとても大事なことで思っていましたので、そういうマスコミとのいい意味での連携ということは今後大事にしていきたいと感じました。学校にも、校長会や教頭会を通じて知らせていきたいと思っています。今少し学校が遠慮しているのではないかと考えています。昔はもっとこちらから今度こういうことをやりますので取材に来ていただだけませんかとよく電話をしていました。今は個人を特定されないなど人権的な配慮というのがあるのかも知れませんが、余り取材要請をしなくなったところがあるので、もったいないなと言うところがあります。はい報告事項に行きたいと思います。1番、2番続けてお願いします。

4. 報告事項

1) 教育委員会

8・9月事業報告、9・10月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

8・9月事業報告、9・10月予定について

(別紙により朝長次長報告)

※報告事項（追加・その他）

森田教育長

つけ加えをします。3ページ、9月9日（火）10日（水）が、郡内の小中学生の夏休みの作品展が東彼杵町で行われました。各学校で行われた夏休み作品展の中から、優秀作品を一堂に展示しました。

次の4ページ、明日23日（土）は、町内でいろんな行事があります。鹿山相撲、鬼木棚田まつり、山中浮立、あと永尾郷でもちょっとしたイベントがあります。秋の本番に向かっていろんな地区の行事が復活をしているところがあるのかなあと考えています。

山中浮立は地区の子供たち小中学生が12名演者として出場しますので、

見に行こうと思っています。

27日ですが、教育長・校長の合同の研修会があり、いよいよ人事の説明会が始まります。

10月の予定で延期になっていました東小学校の修学旅行が10月31日から11月2日まで、壱岐市まで出かけられます。

5 ページ、給食センターの行事で昨日行われました運営委員会の中のことで、是非教育委員さんたちにもお伝えしたいことがあります。波佐見町の給食に対しては、保護者あるいは職員からも大変美味しいという高評価をいただいています。水本栄養教諭からの話で、いろんなところを勤務で回ってきたけれど、波佐見町の子供たちは、残滓残渣がとても少ない。よく食べてくれるという嬉しいありがたい話がありました。

その他、いろんな意見交換をする中で、箸の持ち方っていうところで、南小学校が学年PTAの参観日の中に保護者向けで、水本教諭を講師として招いてそういう話がありました。その中で民生委員の代表の方から、箸の持ち方ももちろん大事ですが、お碗の持ち方についても学校で指導してもらえるとありがたいですという話がありました。もちろんそれはそれとして、とても大事なことです、申し訳ないけれど、そういう箸の持ち方とか、お碗の持ち方とかいうのは、本来は学校に入るまでに、家庭で躰てくるべき内容ではないかと思っています。今は学校で学び直しがどんどん求められていて、学校で教えることが多岐にわたり過ぎて、どうなのかなあという部分があるという話をさせていただきました。

中学校から、今の中学校では食べる時間は15分しかありませんという話があったところ、藤下先生が運営委員会の委員長をされていますが、早食いは駄目です、糖尿病になりますから、ぜひ止めてくださいという話がありました。食事はゆっくりした時間で食べさせるようにと言われても、結局中学校は15分、小学校でも25分しかありません。1年生は準備からしていたら、もうほとんど食べる時間がなくてという現状が実際ありますと、学校から報告がつていました。偏食だったり、小食だったり、マナーだったりとかは、お家である程度のところまでは躰けていただかないと、学校では余りにも業務が多過ぎて、大変厳しいところがあるので、是非PTAでそういう話題を皆でしっかり共有していただきたいという話をさせていただきました。

給食費の徴収率は100%です。県下ではどこにもありません。もちろんこれは徴収員システムという保護者の方々に大変ご苦勞を掛けられているところではあります。課題はありますが、振り込みに変えたところの徴収率は今65%~70%です。そういうところは、集まってくるお金がないわけですから、しわ寄せは当然、質とか量とか子供たちの健康に関わる部分に出てくるので、今のシステムを何とか継続をさせていただきたいということと、教育委員会としても強力に給食費の完全無償化を、町長に強く訴えていきたいという話をさせていただきました。現在でも第2子以降の無償化ということも県内で一番の補助率ですが、できれば早い段階で、波佐見町から無償化が始まったというインパクトの強さを求めていきたいところも

あります。6年度からでも良いので、是非今度の総合教育会議の中でも委員さんからも町長にそういうプッシュをしていただければ大変ありがたいと思っています。波佐見町が移住定住先として選ばれる町になるというところの部分ではとても大事な考え方だと思うので、どういう保護者支援ができるだろう、あるいは住民支援ができるだろうとの観点の中で、お金を有効に使っていくべきだと思っています。そういう意見交換が町長とできれば良いと思っています。

議会答弁の中でとても心強かったのは、町長からふるさと納税が20億前後毎年いただいている、半分の10億の内から一般財源として利用して、残りは基金に積み立てていて、今20億近くの基金が積みあがっているのもうこれ以上基金の積み増しも必要ないと考えているという話がありました。そうすると毎年のふるさと納税の益金を寄付者の意向に沿って毎年有効に活用していきたいということでした。今でも6億から7億はもう使っている、残り4億前後を有効に活用していきたいことを町長が明言されました。私たちは教育に関するところの部分について、積極的に要望や意見を行っていききたいと思っています。一つの資料として、これからの3年間の振興実施計画というものがあり、教育委員会側の要望をまとめているところがありますので、先ほどの無償化の問題とか、あるいは講堂の空調化の問題とか、そういうところの要望を上げているところです。是非早めに実現出来たら嬉しいと思っていますので、教育委員の皆様からも、ご支援をよろしくお願いしたいと思っています。

では、事業報告、給食センターも含めて何かご質問、お尋ねがありましたらお願いいたします。

8月30日の子供たちの出席状況が今ここで分かりますか。また気になる子供の情報などがあればお願いします。

渡邊指導主事

はい、今年度は夏休みが2日前倒しに終わったので、8月30日が2学期の始業式になりました。9月当初は、昨年度も一昨年度も、特に中学生の登校渋り不登校が一気に増えた時でもありましたので、そこはちょっと気になって学校にも事前に報告をお願いしていました。幸いなことに新たに不登校で名前が挙がってきた子はありません。ちょっと安心をしているところです。しかし今も、なかなか登校を出来ずにウェイブホールを利用したり、家から出てこれないという子供もいますので、そこは引き続き、対応を進めていかなければと思っています。今年度、県の事業で確かな一歩事業っていう事業があります。全国もそうですが、長崎県の不登校者数も過去最高を継続している現実を受けて、何とか家から一歩出そうと対策を行えば補助金が出ます。例えば、公共交通機関を使って佐世保の美術館に行ったり、とにかく家から一歩出していきたいと思いますという取り組みです。今回波佐見町もこの事業に手を挙げ10月にソーシャルワーカーを中心に進めていこうと思っています。それが、どのような効果が上がるか、効果を見たいと思っていますので、後でそれについてはお話できたらと思っています。以上です。

森田教育長

はい。それでは（３）９月議会定例会についての報告をお願いします。

３）９月議会定例会について

朝長次長

別添資料で教育長答弁を配布していますが、今回も10人中6名の方から一般質問がありました。あと福田議員ということで書いていますが、先ほど教育長の話にも出てきましたふるさと納税のところで、野球場というところに持って行かれましたので、福田議員と書いています。

【資料に基づいて説明】

それと、またレジュメに戻っていただいて、補正予算について主だったものを上げています。債務負担行為として、スクールバスの運行業務を上げています。今年度末で３年間の期限が切れますので、来年度に向けてのスクールバスの次の業者選定をするために債務負担行為ということで３年間の予算を確保しますということで上げています。中央小も南小も一応予算枠としては3,300万ということで承認をいただいています。今現在の契約額は中央小が３年間で1,353万円、南小が1,412万4,000円で新栄自動車が行われています。しかし、どんどんガソリン価格が上がっている中で果たして３年間の応札っていうのが大丈夫かなと心配しています。

光熱費も上がっていきまして、今年は特に暑くてエアコンもどんどん使っていたということで、光熱費はどこの学校も上がっています。

あと図書館に無線LAN、Wi-Fiを引く予算と、地域スポーツクラブ体制整備事業委託、これも先ほどありましたが、地域移行に向けて、今の中学校のサッカー部とデサフィーゴと連携した取り組みを行っています。それに対して国から委託料を頂くことになっています。

公募制研究指定校事業委託料ですが、これは南小学校が今年度手を挙げられました指定校のための委託費です。あと中尾上登り窯の保存整備工事で、昨年度出来なかった部分を今年度の予算を組替えて実施をしたいと考えています。議会関係は以上でございます。

森田教育長

今回横山議員さんが学力のことに特化した質問されています。やり取りをする中で、地域の方々にも、今の学校の取り組み、あるいは危機感、あるいは今後の手だてということについて、確認してもらえたことは良かったのではないかと思います。

今学校側が一番課題、大変だと思っていることが、委員の皆様も学校訪問等でお気づきだと思いますが、クラスの中にどうしても支援を要する、配慮を要する子供たちが一定数いて、授業をガチャガチャすると言いますか、学級が落ち着かない状況です。そういった子が２年３年４年生ぐらいまで多いので、基礎学力が身につかない状況で、学力の向上以前の問題

で、支援を要する子たちが増えて、学校は大変ですというのが学校側の本音の部分でした。

そのことを、あえて横山議員さんから問うていただきましたので、実際そういう場面も、確かにあると思いますということで、支援員さんの増員という形で回答をしています。今本町の支援員はフルで16名いますので、県内でも一番人数的にも時間的にも最大です。ところが今言ったように学校の実態が年々厳しくなっているところがあって、東彼杵町や川棚町みたいに、2時間、4時間、6時間という短時間で地域の方々がサポートさせるシステムもあります。だから当然人数が6人から10人近く学校にいらっしゃるので、人数的な不安・配慮は、川棚町・東彼杵町の方が良いので、それを、校長会・教頭会、あるいは学力向上推進委員会で提案して、どうするかということ聞きました。学校側は薬が切れる午後にどうしても支援を要することが増えてくるので、できれば7時間のフルの支援員さんを増員していただくことが一番ありがたいですという意見でしたので、今回どうなるか分かりませんが、教育委員会としては、学力向上支援員さんをそれぞれの学校に1名ずつ増員という形で来年度以降の予算要求をやっていきたいと思っています。ただ、私の答弁の中にも書いていますが、そういう周りの体制づくりはもちろん大切とは思いますが、何より先生たちの意識を変えてほしいと思っています。標準学力調査を2回やっても、去年もこういう結果でした、一昨年もこういう結果でしたって、全然変わってないじゃないですかって、そこを先生方が意識を高め、皆で全体の課題という形で取り組んでもらわないと、いつまでたっても変わらないじゃないですかと言われないようにしてもらいたいと話をしました。もうちょっと意識、責任、責務というのを自覚していただいて、皆でやることをキチッとやって欲しいという話をさせていただいていますので、体制づくりも、もちろんやって行かなくてはいけないと思いますが、先生方の自覚についても、再度お願いをしています。とても優秀な先生方も多いし、いつも言っているように、波佐見の子供たちは学びの一番根本である素直さっていう点では、素晴らしいものがありますので、この土壌と保護者地域の協力性、地域性の良さというものもありますから、学びの伸び代はとって大きいと思っています。過去にもそういう実績があったわけですから、改めて、この学力については、将来の生きる力の土台になるので、危機感を持って指導していただきたいということも話をさせていただいています。

総合文化会館の子供居場所として、小中学生の学習コーナーの増設ということを思っています。今アイデアとしては、正面玄関に入って左側のスペースが空いているので、そこに県庁のロビーに置いてある机や椅子を、同じように幾つか置いて、自由に学習や会話ができるようなスペースをまず確保したいと思っています。

図書館については、今の図書館が少しガチャガチャしているイメージなので、その分を教育委員会移転後の事務所に持ってくることで、すっきりした形になれば印象も随分変わるかなあとと思っています。それはもう今年

度あたりに取り組めたらいいなということで思っているところです。

濱本さんの全天候型については、大変申し訳ないけど、他の子供たちの危険性ということもあるし、野球とかソフトボールへの活動の支障ということも十分考えられます。建設費も3,000万ぐらい掛かるそうなので、費用対効果的にも、どうなのかなというところもあります。今のところ、県内、全国的に見ても、中学校のグラウンドに全天候型の走路を準備している学校はおそらくないと思っています。そこまで必要ないというこちらの思いを伝えています。ただ野球場と同じように、陸上競技場を備えた総合運動公園っていうものを、波佐見町はスポーツの町としてアピールする必要があるのではないか、それによって交流人口が増えるのではないかとという意見要望は根強いものがあります。ただ、それが町民全ての思いであるかということ、そうではないところがあるので、非常に難しいところがあります。ユーチューバーのアゲアゲTVの方々が、町民200人に対してアンケートを取られています。そのアンケートが2者選択で、「〇〇みたいな野球場が欲しいですか」と「武雄市にあるような図書館が欲しいですか」この二択でどっちが欲しいですかというアンケートをされています。結果、武雄市みたいな図書館が6割、野球場が4割だったということのようです。ただ野球関係者の人は、図書館を作っても交流人口は増えないという思いがあられますが、これはあくまでも一部の、極一部の条件付の質問なので、これが全て町民の方の意向にはならないのではと思っています。議会でもアンケートを使って質問がありましたが、それは調査としては信憑性といえますか、公平性がないので、それを基づいての質問はしないで欲しいという話をさせていただいて、それについての回答は差し控えますと話をしています。

町民の方々の思いの部分、ひとつやっぱり何十億というお金を使って、負のレガシーを作る必要があるのかという部分があります。それよりも、町民の方々の日々の暮らしの中で、どういうサポートが一番求められているのかの方が、交流人口なり、あるいは移住定住者の増加とか、あるいは少子化対策にも繋がっていくのではないかとという大きな課題の方が先ではないかという思いもあります。しかし、30年近く野球場建設の要望が関係者の方々から強くされているので、それについては前川町長も少し考える必要がある時期に来たのではないかと思います、教育委員会でも少しその準備を進めているところではあります。

はい、議会関係について何かご質問なりご意見等ありますか。無ければ、次、議題に入って就学援助の認定を行いたいと思います。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長

はい、今回は経済的理由で新規が1件、児童扶養手当の新規1件の申請があっています。

【資料に基づき説明】

森田教育長

経済的申請は、条件的にはクリアをしています。児童扶養手当も関係課から承認がされている事案の二つですが、よろしいでしょうか。

【委員、了承】

では提案があった。2名については認定として対応させていただきます。持ち寄り議題は後に回して、4のその他で、2学期の学校訪問についてお願いします。

4. その他

- 1) 2学期の学校訪問について
- 2) 中学校体育祭について
- 3) 教育委員会松永主任の退職について

朝長次長

先ほどもちょっと説明しましたが、東小学校が25日水曜日13:30から16:45、中学校が10月5日のエバンジェリストの研修会ということで、授業を見ていただくということで、13:55から始まるということですので、40分に集合していただければと思っています。

中学校の体育祭については、9月24日の8:45ですので、集合時間等の打合せをさせていただければと思っています。

あと、今教育委員会の社会教育に松永主任がいらっしゃるんですが、今月いっぱい退職をされます。次にしたい仕事があるということで相談を受けていましたが、やむを得ずというところです。松永主任の後任には、昨年も産休代替で来ていただいていた方をお願いして、今引継ぎをいただいているところです。

渡邊指導主事

学校訪問についてです。東小学校が10月25日、こちらのほうは、学校の思いとしては一つ授業を見ていただいて、それに対する研究協議も行いますので、一言感想等をいただければという昨年度と同様なスタイルです。中学校においては、エバンジェリストというのが昨年度から実施をされています。ICTの伝道師という名前のようです。ですから、今回はICTを使った数学の授業を行いますので、委員の皆さんにもぜひご覧いただきたいと思い、学校の方と協議をしながら組んでみました。内容としては、琴岡先生の数学の授業を見ていただきます。そのあとに研究協議を行います。県から担当指導主事が見えられて、エバンジェリストの授業について5分ほど説明をいただき、そして教育委員さんから授業に対する感想等を15分ほど述べていただきます。その後、県の担当者と事業者の琴岡先生とで、さくばらんな個別相談がなされますので、時間的にちょっと早い

ですが、15時15分ぐらいの時間帯で今回の学校訪問は終わるような形になりますので、よろしくお願いします。

森田教育長

中学校体育祭は、今年は入場行進からしたいということでしたので、8時45分の開会式前、少なくとも20分ぐらい前には行っていた方が良いでしょう。25分ここに集まって行くことでも良いし、中学校に止めるっていうことも勿論あると思いますが、今回から来賓が復活しているので来賓がどれぐらい来られるか分からないので、車はこちらの方が良いかなと思っています。ここに止めテントに8時25分ぐらいでお願いします。今回行進を取り入れたことと、PTA種目が復活しています。それと、PTA会長さんの挨拶もあります。今年ちょっとやり方を県立高校版に変えられていて、種目は閉会式まで含めて午前中に終わってしまいます。ただ、生徒たちはそれからお弁当を食べ、お弁当を食べた後に片づけと解団式を行って、3時ぐらいを目途に帰させます。それは運動会の代休で月曜日休んで、火曜日の朝に片づけと解団式が2時間から3時間掛かるということで、もの凄くもったいないという話が合っていました。日曜日に保護者の方に弁当を作ってもらふ負担は掛かるかもしれませんが、後片づけと解団式までを日曜日にきちっと終わらせて、火曜日は1時間目から授業に入るようにしたいという新しい提案があります。それが今県内の中学校の流れのようです。川棚高校は実際3時まで種目がありました。波佐見高校は昼で終わりましたが、お昼を食べる時間が途中であって、来賓観客が帰った後に閉会式だけやるとか、コロナ後のパターンがあるみたいです。

松永主任さんについては、先ほど言ったように今、後任に前来ていただいた方が来ていただきますので、事務的な引継ぎについては、逆に1年2か月勤めていただいていたので、全く同じところなので、大変ありがたいと思っています。松永主任さんは総務課含めて2年半勤めていただきましたが、人当たりも良くて、フットワークも大変評価の高い方だったので、残念に思いますが、自分のやりたいというところがどうしてもあって、若いうちに挑戦したいところもあったと思いますので、それはもう送り出していきたいなということです。

それでは、持ち寄りに行きたいと思います。委員の皆様からご意見等ありましたらお聞かせください。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員

さっきの学校訪問の件で、東小学校は16時45分までになっていますが、申し訳ないですが、教室がありますのですみませんが途中で退席させていただきます。

渡邊指導主事

そこは承知しております。

- 森田教育長 はい、他ございませんか。
- 馬場委員 町民運動会の時には、教育委員は本部席に席がとってあったと思いますが、それはどうでしょうか。
- 森田教育長 小柳さんは自治会長として地元で指揮を執る役割があられるとは思いますが、他の委員さんも地区テントが良いのか、本部テントが良いのか、今回は午前中だけです。委員さんの判断の中でお願いします。
他、ございませんか。
- 山下委員 先日、中学校の吹奏楽部の定期演奏会を拝見させていただきました。久しぶりのウェイブホールの演奏で、子供たちも生き生きとして、真面目な生徒が多いなあというような印象を受けました。内容的には、吹奏楽部が活動している映像を使って活動の様子をお知らせしたり、生徒会との共演という形で、学校全体で吹奏楽部を盛り上げている様子を伺えて、大変良かったと思いました。生徒の保護者の方もたくさんお見えになられていたようで、来場者も大変多く、盛大に定期演奏会が開かれていたと、私自身も楽しい時間を過ごさせていただきました。
- 森田教育長 300人を超えたのではないのでしょうか。久々多いなと思いました。
- 馬場委員 子供たちも盛り上げて、一緒に踊って頑張っていましたね。
- 森田教育長 前は、先生たちも一緒にされて盛り上げられていましたね。特に今回は生徒がよく頑張っていて、ああいう姿ってとても良かったですね。
- 山下委員 部員が少なかったというところがあって、今までは部員の方が演奏しながら、自分たちでダンスをしたりとかされていましたが、やっぱり演奏者が少なくなるということで、生徒会の方が結構活躍されていたのではないかと思います。
- 森田教育長 一応終わった後に、顧問の先生が見えられて、郡内の三つの中学校どこも部員が10名前後になっているという話をされていました。川中も減って、逆に彼杵中さんは増えて10名ちょっとになられたということで、3校合わせてやっと30名から35名ぐらいということで、もうこれから東彼杵郡合同で練習とか、クラブみたいな形でやっていくことが増えてくるだろうと話がありました。そういうこともやむを得ませんねという話をしながら、本町で練習される時には、どうぞ大ホールを使っていただいて、積極的にそういうところの支援は全面的に行っていきたいと思っていますとお伝えしました。
ちょっと厳しいですね9人で、今の1年生ももちろん入っていただきました

いし、6年生でも30名はいないでしょうから、ちょっと厳しいのかなあと
思っています。以前は100名を超えていた時代もあったという話もあつて
いましたが、近頃の子供たちの特性なのかよく分かりませんが、厳しい練
習を避けるという、運動もそうですが、行かない理由は厳しいから、きつ
いからという理由らしいです。今吹奏楽も同じように、ハードな練習をさ
れているので、避けていく傾向があるようですが、やっぱり残念だなとい
う思いはあります。ここ数年、10年ぐらい前から始まっている傾向がちょ
っと気にはなっています。同時に、なんて言うかな、中学校時代の3年と
いう短い期間の、何か、輝きと言うか、きらめきと言うか、きらきらして
いるところの部分に、子供たちをたくさん参加させたいなあとという思いが
ありますが、なかなか難しいなという思いもあります。学校に馴染めない
不登校の子供たちに、この瞬間を味わってもらいたいという思いを強く持
っています。だから私たちは、学校復帰に向けて何とか刺激を与えて、い
つでも戻ってきてもらいたいと強く思っていますが、そこら辺りは、医療
機関、療育機関の方々、特に療育機関の方々とこの思いがどうしてもズレ
るところが確かにあるのかなと思います。その子が内なる力で、復帰に向
けて前向きになったときにプッシュをしましょうということは、とてもそれ
は大事な考え方であろうとは思いますが、人生80年100年の内の3年って
いうものではなくて、3年の経験が人生を決めるということもあるのでは
ないかという思いもあります。子供たちは小学校中学校の9年間、特にそ
ういう不適用が少し増えだす中学校の3年間というのは、人生の中の僅か
3年という同一化ではないのではないかなと思っていますところがあつて、何
とか、そこをみんなと一緒にきらめきと言うか、輝きと言うか、そういう
ものを味わう、同じステージ、同じ場所にいて欲しいなと強く思っていま
す。しかし、学校に行かなくて良いという選択肢が、今はもう法的にも認
められたところもあつて、なかなか難しいとも思っています。先ほどの渡
辺先生からの説明もそうだし、今日の新聞では佐世保市が、不登校特例の
部分とか夜間中学等々の部分で手を挙げるところもありますが、非常に難
しいなあと思っています。それは今不登校とか不適應を示している子供た
ちの原因と、それが続いている理由というところがあつて、1人は完全に
ゲーム依存です。もう診断名が多分つくであろうという状況です。そう
いった理由で、その子に來なくて良いよということは、本当にどうなんだろ
うかと思っています。それよりも医療ケアを進めて、少しでも早く復帰し
て欲しいというアドバイスが必要なんじゃないかということも話題として
います。ですから、当然、学校に來れない理由がいじめだとか、そういう
大変つらい状況であれば、配慮するところはあると思いますが、ただ何となく
とか、ちょっと友達とトラブルしましたとか、私の居場所がなさそうです
とか、みんなの目が気になりますとか、そういったことを理由に学校に來な
くて良いんだよ、無理しなくていいからねって言うことができるのかなと
思っています。それが、本当にその子にとって良いことなのかと、私たち
は戸惑っているし、いやいや教育機関に勤める者としては、それはちょっ
とプッシュをした方が良いのではないかと話をしています。ありがたいこ

とに、小学校、特に中学校の先生方のフットワークの軽さ、そして情報共有ということがとても熱心なので、波佐見中学校、今微減の状況です。これは県内でも微減というのは珍しいです。だから、これを続けていけたら良いなと思いますし、そのための情報共有というのは、専門機関、役場、児相、医療機関とか、あるいは警察あたりとも連絡を取りながら対応していかなければと思っています。

同時に、家庭環境、特にお母様の影響を受けて、厳しいという子供たちが出てきました。お母様に医療ケアが必要という方々が、3～4世帯あります。そうすると子供の責任レベルではないので、本当に本格的な外部専門機関の関わりがないと、解決できないというような事案も、本町の場合も3割から4割、現実的にあります。とても難しいなと思います。中学校の不登校ということについては、大きな課題として取り組んでいかなければと思っています。

はい、他に委員の皆様から何か、お気づきなり、ここで共有化したい話題がありましたらよろしくお願いします。

松尾委員

先ほどの話とちょっとつながりますが、学校の先生たちはすごく頑張っており、やっぱり保護者の方が意識を少し変えないといけないと思います。箸の持ち方、お碗の持ち方、行儀が良い悪いとか、姿勢が云々とかいうところの家庭の意識を少し変えるために、先生方にもう少し保護者側へのアクションというか、ちょっと気にしなくても良いかもしれませんが、学校でこんなことがありましたっていうことを、連絡いただけるとすごく分かるかなと思います。行ってらっしゃいと送り出したら、学校で何があるのか、親には分かりません。だから心配ないと思うけど、やり過ぎでもいいぐらいに連絡をいただけると良いのかなと思ったことがありました。今、学校から電話されるというのはどうなんでしょうか。もちろんケガしましたということは連絡ありますが、少し頭が痛いって言っていますとか、保健室に行きたがるんですっていう時に、どのぐらいの先生たちが家に連絡しているのかなと思っています。

渡邊指導主事

やはり学校と家庭との連絡っていうのはとても大事なところで、特に低学年については毎日連絡帳のやり取りをしています。その中で保護者から連絡帳に書いてある時には、その日のうちにやっぱり返すようにしていますし、学校で気になることがあったら連絡帳、もしくは直接電話で連絡をするっていうことは、日常的に行われています。今話されところって、やり過ぎかなと思うぐらい小学校はやっているところがあります。逆に、保護者は毎日毎日こんなトラブルがありました、こんなことをしてこうしましたって、毎日連絡があってもちょっとつらいですという保護者もいらっしゃったこともあります。でも、学校としては、学校の様子を家庭に知らせるっていうことはとても大事にしていますので、そこは中学校とちょっとまた違うところと思っています。小学校は、ちょっとやり過ぎじゃないかと言われるようなところまであるのではないかと思います。でも、そ

れを受け取った保護者は、ちゃんと連絡してくれてありがたいという保護者もいらっしゃるし、毎日毎日子供のトラブルを言われるのもつらいなという方もいらっしゃるし、それぞれ受け止め方は様々だろうと思います。

森田教育長

内容だったり、レベルだったりということで、何もしないというのは基本的にはないと思います。それぞれの学校の判断の中で、このことはやっぱり確実に連絡した方がいいねというところの選択をしながらされていると思います。先生方も働き方改革の中であって、特に小学校の教員は、朝から晩まで、職員室で座ってお茶を飲む時間もほぼないぐらいにやっているのが現状です。そこらあたりは、保護者の意識の部分との兼ね合いで、松尾さんみたいにやっぱり子供の様子を知りたいという方もいらっしゃるし、渡邊先生からあったように、もうそれ以上きついですってという方もいらっしゃいます。ただ基本的には、学校の情報について、これはもう是非保護者の方にその日のうちに連絡をした方がよいねということで行われていると思っています。ただ、確かにおっしゃったように、そのことでトラブルが起きるということも確かにあります。もうちょっと詳しく、早めに情報をいただければというところは、確かにあっているのも事実ではないかと思っています。そうすれば、もう少し親としての関わりが出来たのに、こんなになってから言われても、どうしても出来ませんでしたということが無かったかという残念ながら、あったのではないかなとも思っています。今の課題については校長会・教頭会でも共有化したいと思っています。他ございませんか。

それでは、10月の定例会の日程を決めたいと思います。

【日程調整】

それでは、次回10月の定例会は10月24日（火）10時からということでお願いします。9月の定例会お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和5年10月24日（火）10時00分から
波佐見町総合文化会館

令和5年9月22日教育委員会定例会会議録署名	
署名	馬場清治
委員	山下祐子